

道元名『言葉の着用』一詩の迷刃を覗つサへう。』

「小学校で学んだ」とを生かして中学校の国語を学んでいこう

課題①あなたは、この詩に対してどんな問い合わせをもつことができるか。

「あしたーそ」を例に参考にできるだけたくさん書き出そう。
学習のポイントは自分自身で「問い合わせ」

課題②抱いたそれぞれの問い合わせに対し、自分なりの考え方をノートに書いていこう。

11 of 11

あしたこそ
たんぽぽはるか

課題①の例

ひかりを

はなひらく
ひを

ゆめにみて

たんぽぽわたげが

まいあがります

詰題定(1)の例だ。七舞し上かねたのか、飛ひ上かねてはどこか。

とんで、ハラルアリヤでも

あした

であつた。

語彙題①の例 なぜかリリード終わっているのかな。

課題
①
②

おれはかまきり

かまきりりゆうじ



課題②の例 「あした」でもなく、「あした」でもなく、「あした」
そこには「言葉を選んで下さい」と、ややうと思つてもなかなか
かできない「ルビ」。意味がつる「じだん」の「ルビ」をし、な
んとか明日は、やっしげたことこの決意のよつな、希望だとい
うことが伝わってく。
わたしも、人見知りで自分から何かをやるルビができるない
ことが多いので、共感です。

おう なつだぜ

おれは げんきだぜ

あまり ちかよるな

おれの いのりも かまも

どきどきするほど

ひかつてるぜ

おう あついぜ

おれは がんばるぜ

もえる ひをあびて

かまを ふりかざす すがた

わくわくするほど

きまつてるぜ

あきのひ

のぎくみち」

かぜが

とおりすぎました

わたしは はなびらを

ゆすりました

だれかに よばれたきがして

ふりかえると

ゆうひが ぐるぐると

しずむといふでした

いのち

けやきだいせく

わしの しんぞうは

たくさんの

ひとりたちである

ふところに だいて

とても あたたかいのである

だから わしは

いつまでも

いきていくのである

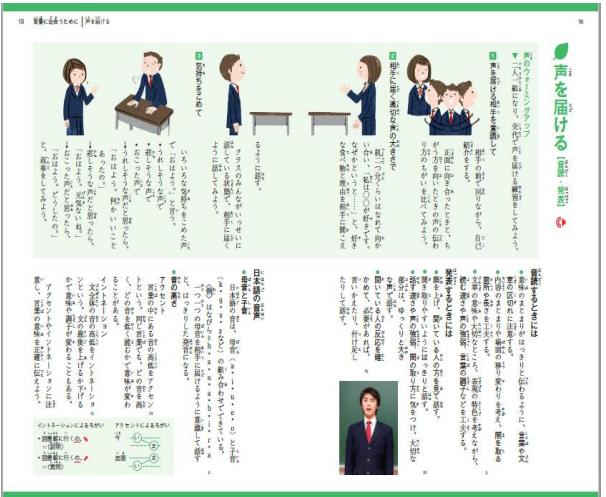
だから わしは

いつまでも

いきていて よいのである

課題③ それぞれの詩から読み取つたことを、声に出して誰かに届けるように読もう。

〔教科書九～十ページ参照〕



課題④自分が一番気に入つた詩を取り上げ、その詩の魅力を他者に伝えるつもりで書こう。

必ず、詩の中の表現を取り上げ、そこからどんなことが伝わつてくるのかを取り入れて書くこと。
字数については特に指定しません。

自己評価をしましょう



この自己評価は皆さん自身が自分の学びを振り返るためのもの・皆さんの理解度や疑問を知るためで、先生の評価とは関係ありません。

課題①② 自分なりの問い合わせ立て、それぞれの問い合わせに対して自分なりの答えを考えられたか。

十分に まずまず 自信はないが
できなかった。

できた。満足。 できた。 なんとかできた。

なにかあれば

【一言コメント】

課題③それぞれの詩から読み取ったことを、声に出して誰かに届けるように読んだか。

十分に まずまず 自信はないが
できなかった。

できた。満足。 できた。 なんとかできた。

なにかあれば

【一言コメント】

課題④自分が一番気に入った詩を取り上げその詩の魅力を他者に伝えるために書けたか。

十分に まずまず 自信はないが
できなかった。

できた。満足。 できた。 なんとかできた。

なにかあれば

【一言コメント】

✿学習を終えて、分からぬこと、疑問に思うことがあれば書き出しておこう。

